

Contents Vol.229

2023.4.1

01
ごあいさつ
新入生の皆さんへ

02
巻頭特集
1 修了式・卒業式を挙行
2 OUIHSスポーツキャンプ 開催

05
大体大PEOPLE
胡 正 俊・幼児活動研究会株式会社
コスモスポーツクラブ堺支部係長

07
NEWS
1 就職状況
2 教員採用試験
3 令和5年度入試状況
4 3年ぶりスキー実習
5 ハンドボール部女子祝賀会
6 日本部活動学会第6回大会

11
EVENT
1 FD・SD研修会
2 シンガポールの大学と3月に交流協定を締結
3 学長特別表彰
4 大島鎌吉スポーツ賞
5 優勝おめでとう 横断幕
6 特別支援教育「教育講演会」
7 宇津木美都選手 世界パラ水泳出場へ
8 くまとりロード開催

14
コラム「ボーシャー」
コラム「窓」



新入生の皆さんへ

柔軟な思考力で 社会改革に挑む人材に

学校法人浪商学園

理事長 野田 賢治



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。学園を代表して心よりお喜び申し上げます。

大阪体育大学は、学校法人浪商学園が設置する教育機関の1つです。浪商学園は1921（大正10）年に創立され、2021年、創立100周年を迎えました。学園の建学の精神は「不断の努力により智・徳・体を修め社会に奉仕する」。この建学の精神を体現できる人材の育成を目指しています。

学園は創立以来スポーツ活動を奨励してきました。浪商高校第2代校長、野田三郎（大阪体育大学初代学長）は「スポーツを通じた青少年の健全育成」の理念の下、野球を筆頭に運動部活動を積極的に支援しました。その強い思いが大阪体育大学開学へ結びつきました。

大阪体育大学は、東京オリンピック開催の翌年1965（昭和40）年に開学し、今年で創立58周年を迎えます。開学にあたり、東京オリンピック選手強化対策本部長と選手団長を務められた後に日本人初のオリンピック平和賞を受賞された大島鎌吉先生（1932年ロサンゼルスオリンピック陸上三段跳銅メダル獲得）を副学長として、またオリンピックスポーツ科学委員で、後に日本体育学会会長に就任された加藤橋夫先生を学部長としてお迎えしました。

西日本初の体育・スポーツの専門大学として、体育・スポーツを通して0歳から100歳までの健康を維持することを標榜し、産業体育・社会体育・学校体育の3コース制で教育をスタートしました。当時、この分野で最先端におられた大島、加藤両先生の思いが、本学の教育の原点です。50年以上経過した今も色あせることなく、脈々と受け継がれています。

今年入学された皆さんの高校生活は、コロナに始まり、コロナで終わった3年間でした。いまだにコロナウイルス感染症は収束していませんが、分類上2類から5類に引き下げられますので、少しずつ以前の日常が戻って来ると思います。

昨年11～12月にカタールで開催された、サッカーワールドカップは世界中の人々にコロナに立ち向かう勇気を与えてくれたのではないのでしょうか。改めてスポーツの果たす役割に気付かされました。

21世紀に入り、時代は猛烈なスピードで変化しています。今まで考えられなかったような事が内外で次々と起こっています。

皆さんには急激な時代の変化に、柔軟な思考力で対応し、自ら考える力を養い社会改革に挑める、そんな大人になって欲しいと思います。

大阪体育大学での学びが、未来社会で活躍できる人間になるための近道となるでしょう。新入生の皆さんが、充実した学生生活を送られることを願ってあいさつとします。

長いようで短い4年間 着実な学生生活を

大阪体育大学

学長 原田 宗彦



新入生の皆さん、大阪体育大学への入学おめでとうございます。皆さんは、高校生活の大半をコロナ禍の中で過ごされ、部活動や大会、そして合宿や修学旅行などが中止や延期になるなど、制限の多い3年間を過ごされたと思います。しかしコロナ禍も、ようやく終わりを迎えるタイミングで、大阪体育大学に入学することになったことは、とても喜ばしいことだと思います。

大学は高校と異なり、どのような授業を取るか、どのようなゼミを選ぶか、そしてどのような部活動やサークル活動を選ぶか、皆さんの意思が尊重されます。また学外でのアルバイトやボランティア活動、そしてインターンシップなど、在学中の生活を自由に設計することができます。その一方で、「自由には責任が伴う」と言われるように、高校時代と異なり、大学生活における学びの成果は、皆さん自身の努力に委ねられます。何を目標にするのか、何を習得するのか、そして長い人生に備えてどのような準備をするのかなど、時間をかけて熟考し、早い時期に明確な指針を定めて欲しいと思います。

体育やスポーツ、そして教育の世界は広く、やりがいのある仕事が多くあります。幼稚園、保育園、特別支援学校、小学校、中学校、高校の教員、警察官、消防官、自治体職員といった就職先もあれば、大学院への進学を経て大学教員を目指す道も拓かれています。さらに多様なスポーツ関連企業や一般企業からの求人も多くあり、皆さんの将来には多様な選択肢が広がっています。

さらに皆さんの将来の進路選択に向けて、大学は手厚い支援を行っています。教員志望の皆さんには教職支援センターがあり、一般企業や公務員の就職に向けてはキャリア支援センターがあります。また部活動に熱中し過ぎて単位取得に黄色信号が灯った学生に対しては、学習支援室がサポートを行います。大学が提供するこれらのサービスを、早い時期から充分に活用して欲しいと思います。

「少年老い易く学成り難し」は言い古された諺ですが、この言葉を今一度新入生の皆さんに伝えたいと思います。まだまだ若く、時間はたっぷりあると思っても、年月はあっという間に過ぎてしまい、やろうと思っていた勉強ができなくなるという警鐘の言葉です。4年間は長いようで短い。新入生の皆さんには、学生生活を心から楽しむとともに、時間を大切にしながら、目標に向かって着実に学生生活を送って欲しいと願います。



ザ・リッツ・カールトン大阪で行われた修了式・卒業式。4年ぶりに一堂に会して実施された

修了式・卒業式を挙行

4年ぶり一堂に会し

ザ・リッツ・カールトン大阪

在学を代表して北川亮介さん（体育学部3年）が、謝辞は、大学院総代・帯川きよらさん、体育学部総代・岡田菜月さん、教育学部総代・福田桜子さんがそれぞれ務めた。また、各コースなどに分かれた伝達式では、修了生・卒業生一人ひとりにゼミの指導教員らから学位記・卒業証書が授与された。

原田学長は続いて式辞に臨み、「皆さんに『美点凝視』という言葉を贈ります。その人のよい点や優れている点を見つけ、長所として認識するということの意味で、人間はほめられることが大好きです。皆さんは新しい職場や学校で多くの人と交わりますが、上司や同僚、子どもたちの優れた点や良い点を見つけて相手に伝えてください。野球のWBCでチームジャパンの選手全員がお互いや相手選手をもリスペクトし、まさに『美点凝視』が優れたパフォーマンスを生んでいます。そこにもスポーツの素晴らしさが凝縮されていると思います」となどと卒業生らに語りかけた。

令和4年度修了式・卒業式が3月17日、大阪市北区のザ・リッツ・カールトン大阪で行われた。修了生・卒業生は、大学院生は博士前期課程17名、博士後期課程5名。学部生は体育学部497名、教育学部129名で合わせて626名。これまで新型コロナウイルス感染症対策として午前と午後の2部制だったが、今年は一堂に会した。式では、原田宗彦学長が博士後期課程の5名や博士前期課程と各コース代表の学生に学位記・卒業証書を授与し、スポーツや学業で優れた成績を取めた大島鎌吉賞、加藤橋夫賞などの88名を表彰した。



学位記・卒業証書を授与される修了生・卒業生

【大島鎌吉賞受賞者】

岡田彩愛、下馬場燎、前田優、弓削春風（以上ハンドボール部女子）＝全日本学生選手権優勝、岩崎立来（陸上競技部）＝世界選手権出場

【加藤橋夫賞】 3名

岡田菜月（体育学部スポーツ教育学科）、山崎麻弥（体育学部健康・スポーツマネジメント学科）、福田桜子（教育学部教育学科）＝学業成績学科1位

【博士後期課程修了者】

ヘンダーソン・フレデリック・ジェームス・ベノワ、吉武将司、山田弥生子、富永哲志、近藤みどり

浪商学園100周年記念事業

O U H Sスポーツキャンプ 開催

スポーツの伝統・今・そして未来

「浪商学園100周年記念O U H Sスポーツキャンプ」が2月25日、大阪体育大学と大阪体育大学浪商中学・高等学校で開催された。



ハンドボール

O U H Sスポーツキャンプは、高校生や年長者の方々らがキャンパスで本学の学生といっしょにスポーツ体験などを楽しむイベント。これまで、地域の子どもやお年寄りを毎年招き、「開かれた大学づくり」を目指して、本学が持つ知的、人的、物的資源を提供し、スポーツの楽しさを伝えてきた。コロナ禍の感染対策で3年間規模を縮小していたが、今年浪商学園の創立100周年（2021年）記念事業として、イベントの規模を拡大して開催された。

テーマは、「スポーツの伝統・今・そして未来」。大阪体育大学が主催し、大阪府の特別協力、熊取町の協力をいただいて、午前・午後の2部制で実施した。



サッカー

中央棟前広場で行われた開会式では、大阪体育大学社会貢献センター長の富山浩三教授が、主催者あいさつとして「普段、学校の体育でやっているスポーツとはまた違う、いろいろなスポーツも用意しています。スポーツの楽しさ、面白さをぜひたっぷり体験してください。今日は、大阪体育大学の最先端の施設や経験や知識を公開していきます」と話した。

続いて、浪商学園の野田賢治理事長が「浪商学園は、100年前の創立時からスポーツを通じた青少年の健全育成を教育方針として掲げています。タイトルの『伝統・今・そして未来』にある通り、浪商学園はこれからもその教育方針を守り、これからも地域に貢献できるように力を入れていきたい」と参加者に語りかけた。

その後、スポーツ体験教室の各プログラムを担当するクラブの監督・コーチや部員、教員やゼミ生が紹介され、開会式は終了した。



キックターゲット



バレーボール



3×3バスケットボール



テニス



剣道



ボッチャ

野球



車いすバスケットボール



バスケットボール

防災スポーツ体験会

ボルダリング



BMX



超人スポーツ

続いて熊取キャンパスのスポーツ施設や浪商中学・高校の体育館で、サッカー、野球など9種目のスポーツ体験教室と、9つのスポーツ体験コーナーが一齐に開催された。

体験コーナーは本学のクラブなどが担当したほか、特別協力をいただいた大阪府の連携事業などとして、車いすバスケットボール女子日本代表主将の網本麻里選手による体験教室、防災スポーツ体験会、サッカーJ3・FC大阪によるキックターゲットなども実施された。

参加した子どもたちは、各クラブの監督や部員らから指導されて元気いっぱいスポーツを楽しみ、地域の高齢者の方々は、健康増進・若返り講座で学生とバドミントンなど様々なスポーツに取り組んだ。

お昼には中央棟前広場でステージパフォーマンスが開催され、なぎなた部、ダンス部、ダブルダッチ部が演舞やパフォーマンスを披露。ピアノ＆ボーカルユニット「ぶーげんびりあ」のライブも行われた。

このほか、合同開催として高校生や保護者を対象にした個別相談会も実施され、本学に関心のある高校生らが入試や本学での学びなどについて、スタッフに質問していた。

なぎなた部演舞



ダブルダッチ部パフォーマンス



ダンス部パフォーマンス



ピアノ & ボーカルユニット「ぶーげんびりあ」ライブ



体力測定会



健康増進・若返り講座

●実施された体験会

スポーツ体験教室

サッカー、テニス、野球、バスケットボール、剣道、健康増進・若返り講座、バレーボール、ハンドボール、車いすバスケットボール

スポーツ体験コーナー

ポッチャ、ボルダリング、超人スポーツ、体力測定会、BMX、3×3バスケットボール、キックターゲット、防災スポーツ体験会、車いすバスケットボール

ステージパフォーマンス

なぎなた部演舞、ダンス部パフォーマンス、ダブルダッチ部パフォーマンス、「ぶーげんびりあ」音楽ライブ

大学で学んだ“本物”の技術を仕事に生かす
 体育指導で地域貢献したい



幼児活動研究会株式会社
 コスモスポーツクラブ堺支部係長

胡 正俊さん

胡 正俊（えびす・まさとし）
 1987年10月27日生まれ、35歳。大阪体育大学体育学部 健康・
 スポーツマネジメント学科卒、42期。2010年4月に幼児活動研
 究会株式会社 コスモスポーツクラブに入社。大阪南支部での勤務
 をスタートし、現在は自身の地元でもある堺支部に在籍。子供た
 ちの体育指導などに取り組む。

——この仕事をめざしたきっかけは

高校の時にいった保育園の職場体験
 に体操の先生が来ていて、こんな仕事
 があるんだと知りました。子供たちが
 一番楽しそうな瞬間がその体育の時間
 だったというのが印象的で、これを仕
 事にしたらずっと楽しい時間が過ごせ
 るのかもと思いました。子供と接した
 り、教えたりするのがもともと好きだっ
 たので、学校の先生もいかなと思っ
 たのですが、どこが一番自分に合っ
 ているのかと考えて、早い段階から幼児
 体育に関わる仕事をめざしていました。

——大学時代の思い出は

ずっと陸上競技の長距離をやってき
 て、高校の途中で走り幅跳びとか三段
 跳びとか跳躍も一緒にやってきたこと
 もあり、大学は三段跳びに取り組みま
 した。大学だと目標が高くなって、高
 校の時のレベルと全然違うのですが、
 試行錯誤しながら目標に向かって挑戦
 したのが楽しかったです。友人関係も
 授業もゼミも部活も楽しくて、大学時
 代は面白くない時がなかったです。

——仕事の内容は

基本的には幼児と小学生に対しての
 体育指導です。午前中は園内保育に
 入って一緒に指導させてもらって、午
 後はスポーツクラブとして園の場所を
 借りて年少・年中・年長と小学生に指
 導します。小学校の先生に対して体育
 指導をレクチャーすることもあります。

——大阪体育大学に進学した理由は

中学・高校と陸上競技に取り組んで
 いて大学でも続けようと思ったことと、
 やっぱ幼児体育に関わる仕事をめざ
 すために大阪体育大学へ進学しまし
 た。大阪体育大学だったら色々な夢を
 持っている人と出会えるかなと思いま
 したし、体育の知識を身につけたいな
 というのもありました。第一志望が大
 阪体育大学でした。

大阪体育大学の卒業生の次のステップというと、保健体育教員やアスリー
 ト、トレーナー、スポーツ用品メーカー勤務などをイメージしがちだが、その
 進路は多岐にわたる。そんな卒業生の就職先として人気の企業が、東京都川
 区に本社を置く「幼児活動研究会株式会社 コスモスポーツクラブ」。全国各地
 の幼稚園・保育所・こども園に講師を派遣し、子供たちに体育指導などを行う
 企業で、幼児体育を手掛ける先進企業として知られる。この幼児活動研究会に
 は、令和5年度の新入社員を含め、卒業生ら30人余りが在籍し、子供たちの体
 育指導を中心に活動の場を広げている。今回、この企業で活躍する大体大ピ
 ールに幼児体育の重要性や課題、卒業生の進路などについて伺った。

友人関係も良かったのですね

友人には教員をめざす人や警察官・消防士をめざす人、起業をめざす人もいて、同じように夢を追いかけている仲間と過ごせたことが良かったと思います。自分と同じ夢を持つ友人とも出会い、「先輩がコスモスポーツクラブというところで働いていて、自分も働きたい」という話を聞いて、「自分もそれはずっとやりたかった」と意気投合しました。

仕事の楽しさ、やりがいは

子供たちが頑張ってくまくなった時は自分も嬉しくなります。一つ一つ教えていって、最初は何もできなかった子供たちがちよつとずつできるようになっていく。子供たちはどんどん成長していきます。できた瞬間が一番嬉し



そうですね、それを見て保護者や先生も喜んでくれるので、やりがいを感じますね。結構体力を使う仕事ですが、帰る時には元気をもらって帰るような感じですね。

子供への指導は難しく思うべきか

会社に指導のノウハウがあるので、それをまずマスターしました。そういうノウハウがあるのは会社の強みだと思います。子供相手の仕事ですので、自分の思い通りにいかないことの方が多いのですが、極力子供たちに合わせて、自発的にやりたくなるように指導しています。子供たちにイメージさせるのが一番なので、例えばボールを投げる時にも「強く投げて」と言うよりも、「ロケットを飛ばして」と言う方がイメージしやすくなって、思い切り投げられたり、投げる角度もよくなりました。

指導するとき心がけていることは

幼児体育の会社ではあるのですが、体育指導で何かを伝えていく。人として成長してもらうことが一番の仕事です。楽しみながら目標を達成して、更に努力してまたできたという成功体験を積み重ねていく。人としてそういう努力をしていくことを理解してもらえたらと思っています。自分が指導した以上は絶対に向まくなつてもらいたいというのはもちろんありますが。

幼児体育の重要性は

子供たちの運動能力の低下が気になります。転んだ時に顔から落ちて手をつけないとか、ジャンプができないとか。公園で遊んだりする経験も少なくなっていますし、子供たちの動きが単純化しているような印象を受けます。運動神経が形成されやすい時期ですので、自分の思うように体を動かせる力をつけてもらうことが大切です。勉強ができる、音楽ができるのと同じように、運動ができる子供たちの将来の選択肢も広がると思います。

大阪体育大学での学びが仕事にどう生かされているか

部活で学んだ走り方の技術とか、大阪体育大学で本物の技術を学んできたので、自信を持って技術を伝えられることが一番の強みかなと思います。野外実習でのレクリエーションの知識も今の仕事に生かされていますし、子供たちががをした時に応急処置ができたり、自分でテーピングができたり、そういう部分も生きています。

今後の抱負は

もつと上の立場に立って、地域貢献につながるようなことができたらと思っています。子供たちにいい指導をすることが一番の地域貢献かなと思うのですが、体育指導で何かを伝えていければいつも考えています。また、いい環境で若い社員に成長してもらいたいですね。



学生へアドバイス

アルバイトでもインターンシップでも、色々な経験をしてほしいですね。ずっとスポーツをやってきたのなら、そのスキルを生かせる仕事を見つるのが一番ですし、この仕事のようにスポーツに関わる道はいくらでもあると思います。スポーツを続けているということは、努力してきた人たちだと思えるので、その努力してきたことをそのまま伝えてほしいですね。色々な経験をして、見つけた夢に向かって一直線に進んでほしいです。

就職状況

公務員合格 大幅増90人

今年度も安定した高い就職率に

新型コロナウイルス影響下での就職活動が終了した。

2020年から採用試験方法はオンラインシステムを活用した選考が定着し、学生は柔軟に使いこなして選考に挑んだ。一方で対面に戻った採用試験なども多く、キャリア支援センターでは、学生がどちらの方式にも対応できるように、オンライン、対面双方の面接対策や講座の充実に努めた。

令和4年度の公務員現役合格者数は、昨年度の74人を大きく上回る90人(延べ)。内訳は、国家公務員(刑務官・自衛官・海上保安官)が4人、地方公務員(警察官・消防官・行政職)は86人。コロナ禍で公務員人気が高まる中、キャリア支援センターとして「公務員コース」を新設して「公務員革命」を掲げ、学生たちが粘り強く取り組んだ成果が出た。

恒例の全学イベントである「キャリアフェスタ」も、オンライン形式で開催した。

3年生対象は8月に開催し、大手

業界の人事担当者によるLIVE配信の講演を含め、2日間で全24の企業・団体の動画を配信した。1、2年生は2月に開催し、2年生対象は今年、内定、合格が決まった4年生36人から、後輩に向けて熱く語る講演動画を配信。また、1年生は「将来について考えよう」をテーマに、枚方市立明倫小学校教頭・大隈大蔵氏(35期卒)、大阪府警察住吉警察署警察官・庄司龍二氏(41期卒)による特別講演を配信した。

キャリア支援センターの特徴の一つである「学内セミナー」は、コロナ禍の中、本年も多く企業団体の協力で、昼休みにオンライン・対面のハイブリッドでの説明会を実施した。

近年、卒業予定者の約50%が企業等(企業、スポーツ関連、医療、福祉、自営業)に進み、高い就職率を残している。各企業の体育会系学生に対する評価は安定しており、本学の学生に対する期待も一層高まっていると感ずる。

【キャリア支援センター】

教員採用試験

70人現役合格

3年連続過去最多

年度別教員採用試験(現役)合格者状況

卒業年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
合格者数	52人	47人	55人	63人	70人

令和4年度実施(令和5年度採用)の公立学校教員採用試験の現役合格者は、27の自治体で延べ70人となった。前年度の現役合格者63人を上回った。

内訳は、大阪府11人、大阪市7人、堺市2人、兵庫県1人、神戸市2人、京都府1人、和歌山県4人、奈良県1人、滋賀県1人、鳥取県9人、愛媛県4人、高知県3人、北九州市3人、岡山県2人、横浜市2人、愛知県2人、福岡県2人、香川県2人、島根県2人、北海道1人、神奈川県1人、相模原市1人、静岡県1人、新潟県1人、岐阜県1人、富山県1人、福井県1人、長崎県1人。

学校種別では小学校(小中いきいき連携を含む)48人、中学校8人、高校2人、特別支援学校12人。教育学部で初めて高校の現役合格者が出た。

昨年度に引き続き、本年度の教員採用試験もコロナ禍の中、いくつかの自治体で実施方法や試験内容の一部が変更になった。

本学では、1年次のキャリアガイダンス、2年次のグループ面談、3年次前期の全員の個人面談などがある。大規模校では学生全員との面談は難しいと思うが、本学は学生の顔を覚えるくらいに一人一人と徹底して向き合う。それを機にモチベーションが上がりコツコツ勉強する学生が多い。面談では試験対策だけでなく全般的な悩みの相談もあり、カウンセリング効果が利いていると思う。また、学部の先生方とは別に、学習支援室がSPI対策を徹底し、各種支援講座、オンライン講座、教職支援センターの校長経験スタッフ3名による、時に厳しいほどの面接練習なども合格に向けた武器になっている。

近年、教員採用試験が易化していると言われている。確かに小学校教員の採用試験倍率は、10年ほど前は10倍前後だったが、ここ数年を見れば2〜5倍程度になっている。一方中学校、高校の全教科の平均では低下傾向にあるが、保健体育はいまだ高倍率を保っている。この倍率低下には様々な要因が絡んでいるが、長時間労働などの要因がクローズアップされており、働き方改革が進められている。教員を目指す学生にとって、教員採用試験合格はゴールではなくスタート。教育現場は常に変化しており、学校現場では新人教員も即戦力として役割を担っていかなくてはならない。真摯な気持ちで「学び続ける教員」でないと変化に対応できない。

本学で教職課程を履修している学生は、教育に対する熱い思いや、子供に対する愛情が深い人が多い。本学の4年間で人間的にも成長し、勉学を通して知識技能を身に付け頑張ってもらいたい。

【教職支援センター】

令和5年度入試

年内入試へのシフトがさらに加速！

令和5年度入試は、昨年、一昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じ、受験者に不利益が及ばないように、特例措置を設けて実施された。

志願者数は、体育学部が879人で前年度52%減、教育学部は314人で前年度43%減となり、総志願者は1,193人で前年度50%減となる非常に厳しい状況である。

入試制度の見直しを実施し、複雑化していた多くの型や日程を絞ることで受験生にとってシンプルな選択ができる方法に変更した。また、学校推薦型では専

願制中心に戻すことで、本学への志願度が高い受験生の確保が出来るようになった。その他各選抜別の変更点は以下のとおりである。

総合型選抜では、自己推薦型に「資格や高等学校での活動実績」を加点する制度を導入した。

学校推薦型選抜では、昨年度は他大等との併願制を中心とした入試を実施していたが、今年度は自己表現型及び体力評価型を専願制に変更した。ただし、教科型については昨年同様の併願制とし、引き続き他大等との併願も可能とした。

一般選抜は、昨年度までの二つの日程、A日程・B日程で実施していたが、今年度は一つの日程のみに戻しての実施とした。

大学入学共通テスト利用選抜では、前期は両学部で実施し、後期に体育学部

を追加し、体育学部・教育学部共に二回の出願を可能とした。

スポーツ特別総合型選抜においては、体育学部に加えて、今年度から教育学部でも同選抜方法を導入し、9人の合格者があった。

18歳人口が減少している一方で、新設大学・学部等の増加により入学定員数が増えており、昨年度の私立大学・短期大学等入学者志願動向での調査では、47.5%の私立大学が定員割れとなったと報告されている。各大学で定員割れを防ぐために年内入試で定員を確保する流れが加速しており、本学も同様の方針で入学生の確保に取り組んでいる。また、次年度入試に向けて、受験生がより受験しやすいように選抜方法の検討を行っているところである。

【入試部】

<体育学部>

入試制度	学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
総合型選抜	スポーツ教育学科	30	122	122	54
	健康・スポーツマネジメント学科	20	61	61	44
	計	50	183	183	98
スポーツ特別総合型選抜	スポーツ教育学科	97	106	106	106
	健康・スポーツマネジメント学科	23	45	45	45
	計	120	151	151	151
DASH アスリート特別総合型選抜	スポーツ教育学科	3	1	1	1
	健康・スポーツマネジメント学科	2	1	1	1
	計	5	2	2	2
卒業生子女型選抜	スポーツ教育学科	—	5	5	3
	健康・スポーツマネジメント学科	—	2	2	1
	計	—	7	7	4
学校推薦型選抜 ※内部・指定校推薦を含む	スポーツ教育学科	105	201	198	144
	健康・スポーツマネジメント学科	80	131	126	145
	計	185	332	324	289
一般選抜	スポーツ教育学科	80	85	83	95
	健康・スポーツマネジメント学科	70	50	49	52
	計	150	135	132	147
大学入学共通テスト利用選抜・前期	スポーツ教育学科	2	37	37	21
	健康・スポーツマネジメント学科	3	23	23	15
	計	5	60	60	36
大学入学共通テスト利用選抜・後期	スポーツ教育学科	3	5	5	4
	健康・スポーツマネジメント学科	2	2	2	2
	計	5	7	7	6
外国人選抜	スポーツ教育学科	若干	1	1	1
	健康・スポーツマネジメント学科	若干	1	1	0
	計	若干	2	2	1
合計	スポーツ教育学科	320	563	558	429
	健康・スポーツマネジメント学科	200	316	310	305
	計	520	879	868	734

<教育学部>

入試制度	学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
総合型選抜	教育学科	20	48	48	40
スポーツ特別総合型選抜	教育学科	5	9	9	9
卒業生子女型選抜	教育学科	—	0	0	0
学校推薦型選抜 ※内部・指定校推薦を含む	教育学科	45	128	127	90
一般選抜	教育学科	45	72	69	46
大学入学共通テスト利用選抜・前期	教育学科	6	53	53	35
大学入学共通テスト利用選抜・後期	教育学科	4	4	4	3
合計	教育学科	125	314	310	223

3年ぶりスキー実習 両学部の約220名が参加

冬の野外活動実習の「スキー実習」が、2月13日から19日にかけて、菅平高原スノーリゾート（長野県上田市）において、体育学部と教育学部の1年生ら、約220名を前後期に分けて実施された。

大阪体育大学では、非日常の自然環境の中での仲間との関わりを通して豊かな人間関係や社会的態度のあり方を学ぶ「野外活動実習」を選択必修科目として位置づけ、キャンプやスキー、海洋スポーツ、ゴルフなどの実習を開講している。

スキー実習はコロナ禍の影響を受けて中止が続いており、3年ぶりの実施となった。感染対策のため本来の日程を短縮しての実施となったが、限られた条件の中で最高の成果を得ることができた。

この「スキー実習」は技術指導をすべて本学教員が担うことが特徴。先生によるスキーの技術指導だけではなく、普段学内では見ることのできない先生の一面に触れることで、先生や仲間との交流を楽しんでいた。また、夜には「スノースポーツのリスクマネジメント」などを題材にした講義を受け、スキーの持つ教育的価値や生涯スポーツとしての価値を学んでいた。



初歩から応用のレベルまで技能の向上に励んだ



教員からスキーの講習を受ける学生

祝・インカレ9連覇 ハンドボール部女子祝賀会

ハンドボール部女子のインカレ9連覇を称える優勝祝賀会が2月5日、大阪市北区のウエスティンホテル大阪で開かれ、大学やハンドボール関係者、卒業生ら約300人が参加した。

大阪体育大学ハンドボール部女子は、昨年11月、愛知県豊田市で開かれた高松宮記念杯女子第58回全日本学生ハンドボール選手権大会で、史上最多の連覇記録を更新する9大会連続10回目の優勝を果たした。

祝賀会は下川真良・男子監督の司会で進められ、まず、原田宗彦学長が、「監督・選手のリーダーシップとフォローシップ、環境、OB・OGら、組織の幅広い支えがあつての9連覇。この偉業を称えましょう」とあいさつし、野田賢治理事長が、「また来年このように祝賀会ができることを心から祈っています」と期待の言葉を述べた。

祝賀会では、昨年11月のインカレの熱戦の様子のほか、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、インカレ自体が開かれなかった2020年度、8連覇を果たしたものの優勝祝賀会が開かれなかった昨年度の活躍の様子もあわせて映像で披露され、会場から温かな拍手が送られた。

また、本学の卒業生で全国高校選抜大会、インターハイ、国民体育大会で優勝した京都府立洛北高校・西村純、北陸高校・福村正巳、香川県立香川中央高校・田中潤、大阪体育大学浪商高校・徳永昌亮各監督に宍倉保雄前部長から表彰状などが贈られた。



約300人が偉業を祝ったインカレ9連覇優勝祝賀会

最後に女子部員全員が登場し、岡田彩愛主将が、「先輩方が築き上げた連覇はプレッシャーでしたが、チーム一丸となって連覇をつなぐことができた」と振り返った上で、「新チームには、10連覇にチャレンジしてほしい」と激励した。

これを受け、楠本繁生監督は、時折声を詰まらせながら、「次は10連覇と背負うものがあるが、選手たちが思う存分ハンドボールができる環境を整えたい。大阪体育大学に来て良かったと言ってもらえよう、微力ながら頑張っていきたい」と決意を述べた。



楠本繁生監督



岡田彩愛主将



参加者がそろって記念撮影

日本部活動学会第6回大会

本学で開催 4年ぶりの対面実施



大阪体育大学で開催された日本部活動学会第6回大会。対面での開催は4年ぶり、約140人が参加した

日本部活動学会の第6回大会が3月11日、大阪体育大学で開催され、全国の研究者や教育委員会、学校関係者、メディア関係者など約140人が参加した。

大会は、スポーツ庁、大阪府・大阪市・堺市・熊取町の各教育委員会が後援、ソフトバンク株式会社が、くまもりにぎわい観光協会が協賛し、大阪体育大学が主管した。運営スタッフは本学と関西大学大学院の学生約20名が担当。対面での開催は4年ぶりとなった。

学会は、午前・午後の部に分かれ、午後の部では神谷拓会長（関西大学）の開会あいさつ、大阪府教育委員会・橋本正司教育長、大阪体育大学・原田宗彦学長の祝辞、中尾豊喜大会実行委員長（大阪体育大学体育学部教授）の趣旨説明の後、スポーツ庁地域スポーツ課課長補佐 兼運動部活動改革専門官の田口雅紀氏が「運動部活動の地域連携・地域移行と地域スポーツ環境の整備について」と題し



スポーツ庁・田口雅紀氏



橋本正司・大阪府教育長



神谷拓会長

て基調講演した。

続いて、シンポジウム「改革前夜、学校教育・社会教育の視座より、これからの部活動を考える」に移り、第1部の現状報告では土屋裕陸教授（大阪体育大学）がモデレーターを務め、大阪府教育庁教育振興室保健体育課の杉本嘉文主任指導主事が「大阪府における部活動改革について」と題し現状を報告。大阪体育大学からは、滝沢洋平講師が中学・高校などで部活動指導員・外部指導者などとして運動部活動の指導にあたる学生を育成する「グッドコーチ養成セミナー」の詳細を説明し、バスケットボール部女子の村上なおみ監督が、泉大津市の学校現場に部員が外部指導員として派遣されている事例などを報告。泉大津市教育委員会スポーツ青少年課の近藤陽子課長は同市が進める運動部活動改革事業の概要や本学との連携事業を紹介した。また、本学と泉大津市、ソフトバンク株式会社は、協力して遠隔支援サービス「スマートコーチ」「AIスマートコーチ」などを使って本学のバスケットボール部員が中学の部員にタブレットの画面で技術指導する実証実験を実施しており、同社のCSR企画統括部CSR企画部遠隔コーチング支援課の吉嶋稔幸



シンポジウム第1部で報告した皆さん

課長が動画を交えて指導の模様や乾燥を報告した。

第2部の指定討論では、モデレーターの植田真帆講師（東海学園大学）の司会で、森田啓之教授（兵庫教育大学）、久保田治助准教授（早稲田大学）、藤本淳也教授（大阪体育大学）が、第1部での報告を受けてそれぞれ「学校教育」「社会教育」「スポーツ産業」の視点に基づいた部活動の地域移行についてコメントした。

FD・SD 研修会

OBの長積、松岡教授迎え



「総合大学体育・スポーツ系学部・研究科の将来構想」と題したFD（ファカルティ・デベロップメント）・SD（スタッフ・デベロップメント）研修会が2月7日、立命館大学スポーツ健康科学部学部長の長積仁教授、早稲田大学スポーツ科学術院学術院長・スポーツ科学部学部長の松岡宏高教授をお招きして大会議室で開かれ、教職員約40人が参加した。

長積教授は本学の卒業生、松岡教授も大学院体育学研究科生涯スポーツ学専攻の修了生。いずれも本学で原田宗彦現学長の指導を受け、スポーツマネジメントが専門分野。

研修会は、土屋裕陸学長補佐の司会で進行し、2人はそれぞれの大学の先進的な取り組み事例などを紹介した。

質疑応答の中で、長積教授と松岡教授は、勤務校と母校とを比較し、「大阪体育大学は5月の運動部活動指導認定プログラム開講など、総合大学にはないフットワークの軽さや関西の教育現場との連携の深さがある」などと本学の強みを挙げ、来年4月のスポーツ科学部開設（設置構想中）に向け、エールを送っていた。

また、土屋学長補佐は「本学の卒業生・修了生であるお二人がそれぞれの学部、大学院のトップになられていることを誇りに思い、本学も両大学に負けないような活動をしていきたい」と研修会を締めくくった。



歓迎会を楽しんだ



南洋理工学院のLoh Chuu Yi副学長と原田宗彦学長

シンガポールの大学と 3月に交流協定を締結

大阪体育大学は3月7日、シンガポールの大学、南洋理工学院と交流協定を締結した。泉佐野市のスターゲイトホテル関西エアポートで開かれた調印式では、大阪体育大学の原田宗彦学長と南洋理工学院のLoh Chuu Yi副学長が、それぞれ覚書にサインした。

両大学では、学年度ごとに最大30名の学生の交換留学を行い、留学生に交流事業やインターンシップ、トレーニング、ワークショップなどの機会を提供する。

調印式では、野田賢治理事長が「両校の交流が始まります。しっかりと懇親してほしい」と、原田学長が「素晴らしい機会をつくっていただき感謝します」と期待の言葉を述べた。Loh Chuu Yi副学長は「学生たちが交流し、学び、楽しむことを大切にしたい」と決意を述べた。

また、副学長で国際交流センターの前島悦子センター長が「この交流が長く続くことを祈念します」と乾杯の挨拶をして、歓迎会が始まった。

南洋理工学院からは学生ら約30名が訪れ、8日から9日にかけて、大阪体育大学で交流事業に参加し、サッカーや水泳、環境活動を学ぶワークショップなどに取り組んだ。

フットサルコートではシンガポールのポール競技を楽しみ、ダンス室では、日本の踊り「炭坑節（たんこうぶし）」を白井麻子准教授のレクチャーで体験するなど、両大学の学生は交流を通じて親睦を深めた。



シンガポールのポール競技を楽しむ学生たち



学長特別表彰を受けた学生と指導者、大学関係者

学長特別表彰

世界と日本で活躍の8人2団体に

世界や国内のトップの大会で今年度に顕著な成績を収めた8人と2団体に2月8日、学長特別表彰が贈られた。1301で表彰式が行われ、受賞者は原田宗彦学長から表彰状と理事長奨励賞が、長崎正巳事務局長から副賞が贈られた。

表彰の後、原田学長が「クラブの頑張りが大阪体育大学の権威を高めてくれました。これからもアスリートとして活躍するために社会的な責任を自覚しつつ、目標に向かって段階や過程を考えてステップアップしてほしい」とお祝いの言葉を述べた。

最後に、ハンドボール部の藤井愛子さんが受賞者を代表して「指導者や家族、友人の支えがあってこそこの結果だと思っています。大阪体育大学との出会いにも感謝しています」とあいさつした。

【団体】

アダプテッド・スポーツ部=日本車椅子ハンドボール競技大会優勝

ハンドボール部女子=全日本学生ハンドボール選手権大会優勝

【個人・世界】

寺井捺貴(体育3年)=夏季デフリンピック競技大会バレーボール8位

北谷宏人(教育2年)=夏季デフリンピック競技大会陸上棒高跳優勝

岩崎立来(体育4年)=世界陸上競技選手権大会混合4×400mリレー出場

宇津木美都(教育2年)=世界パラ水泳選手権大会100m平泳ぎSB8クラス6位

田部壮一郎(体育2年)=体操FIGワールドチャレンジカップソバトヘイ大会つり輪3位・平行棒5位

内田峻介(教育2年)=世界ボッチャ選手権大会BC4クラス個人優勝・ペア4位

冨部柚三子(大学院博士前期課程2年)=セーリング・ILCA 6級全日本選手権男女総合優勝

築山翔馬(体育1年)=全日本学生体操競技選手権大会ゆか優勝

大島鎌吉スポーツ賞



受賞した楠本繁生教授(右から4人目)、貴嶋孝太准教授(同2人目)、藤原敏行教授(右端)

優れた指導を行い優秀な成績を残した指導者に贈られる大島鎌吉スポーツ賞の授与式が2月9日、理事長応接室で行われた。

受賞したのは以下の皆さん。

〈大島鎌吉スポーツ賞功労賞〉

貴嶋孝太准教授

(陸上競技部男子短距離部門コーチ)

※第18回世界陸上競技選手権大会 オレゴン2022に出場した岩崎立来(体育4年)を指導

〈大島鎌吉スポーツ賞奨励賞〉

楠本繁生教授(ハンドボール部女子監督)

※全日本学生ハンドボール選手権大会9連覇(ハンドボール部女子)を達成

藤原敏行教授(体操競技部男子監督)

※第76回全日本学生体操競技選手権大会ゆかで優勝した築山翔馬(体育1年)を指導



優勝おめでとう 横断幕

2022年度の日本選手権やインカレで優勝、または世界選手権などに出場したクラブや在学学生を紹介した横断幕が制作された。本学中央棟前広場のデッキに掲示されている。

特別支援教育「教育講演会」

3年ぶりに対面で開催

教育学部は2月18日、N号館で「発達性協調運動障害（DCD）」をテーマに、地域公開講座・特別支援教育「教育講演会」を開催した。

教育講演会は特別支援教育に携わる先生方や保護者の皆様など関心のある方を対象に、毎年開かれているが、対面での開催は3年ぶりとなる。

講演会はインクルーシブなダンスグループ「Dance Assemble アマカマ・ドゥ」（指導員安田友紀・神戸女学院大学専任講師）の創作



ダンス披露の後、教育講演として、北翔大学生涯スポーツ学部スポーツ教育学科の瀧澤聡教授が「発達性協調運動障害（DCD）」についてその理解と対応…小学校通級指導教室における実践経験を踏まえて」のテーマで講演した。

その後、関西福祉科学大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻の丹葉寛之教授が「DCD児の学校現場での理解と支援について」と題して講演した。

宇津木美都選手

世界パラ水泳出場へ

2023日本パラ水泳春季チャレンジレース兼2023年度日本代表選手選考会が3月4日、静岡県富士市で行われ、東京パラリンピック100メートル平泳ぎ（SB8クラス）6位の水上競技部、宇津木美都選手（教育学部2年）が、1分27秒60をマークして世界パラ水泳選手権（7月31日～8月6日、英国マンチェスター）の標準記録を突破し、出場権を獲得した。

東京パラリンピックでの記録を約1秒縮める好タイムだった。

また、合わせてアジアパラゲームズ（9月23日～10月8日、中国・杭州）の日本代表候補にも選出された。



くまとりロード開催

本学発着で4年ぶり 482名が快走

第33回くまとりロードレースが3月5日、大阪体育大学の陸上競技場をスタート・ゴールにして開催された。

新型コロナウイルスの感染対策で3年間中止され、4年ぶりの開催となった。クォーターマラソン（10・55km）、3km中学生、3km健康ジョギングファミリーの各種目に合計482名が参加。永楽ダムを2周するコースなどで健脚を競った。



2月6日、トルコ・シリア地震が発生した。その被害の大きさには地震国の住民であっても驚いた。死者への追悼と被災者への連帯を強く表明したい。

トルコと日本の友好の歴史は有名だ。とくにトルコの教科書に掲載されていたエルトゥールル号遭難事件やイラン・イラク戦争でのトルコ航空による日本人救出がある。そしてぼくには、ときおり思い出すトルコ人の家族がいる。

2015年、在外研究でドイツのフライブルク大学に4ヶ月間滞在した。旧交を温めたり、新しく知己を得たり、研究以外にも望外の成果があった。

その滞在中に出会ったトルコ人家族との淡く、しかし印象深いふれあいは、ときおり暗闇の中の螢のようにぼくの心に光っている。

7月のある日、大学近くで「カルミナ・ブラーナ」の貼り紙を見た。なんと公演は明日である。

翌日午前中に地元紙のサービスカウンターでなんとかチケットを買った。

カルミナ・ブラーナは、カール・オルフが作曲した世俗カンタータで、詞は19世紀初めにベネディクト会のボイエレン修道院の図書室で発見された11、12世紀の詩歌集による。聖も俗も、猥褻も含み、当時の民衆の姿を映し出した、「これぞ中世!」が美しい旋律の中でよみがえってくる。



開演前の舞台

今回は、フライブルクの中心から少し離れた Ebnet の城公園を会場にして、夜8時から野外で上演される。出演者は、パーゼルから来演したソプラノ歌手以外はすべて地元民である。だからこそ見逃せない。

ぼくは、ミュンスター近くから30分ほどバスに乗り、一度乗り換えで5分ほどで着いた。列をなしている人々に囲まれて歩いた。屋外ステージは、やや古風な建物の前にしつらえられており、座席はパイプ椅子だった。すでに半分ほどの席は老若男女で占められていた。地元の白ワインが売られていたので飲んでいっているうちに8時となり、カルミナ・ブラーナは、穏やかな暗闇に包まれてドラマチックに開演した。

カンタータ「おお、運命の女神よ」で始まる。

詞の大意は、すべてのものは運命に支配されるもので、運命の女神の持つ車輪の前にすべては服従せねばならないということらしい。本当にそうだろうか？ すべての運命が宿命とは限らない。

漆黒の闇に囲まれた舞台は9時に終わった。来たときと同じように人の流れののって歩き出した。しかしすぐにこれは来たときと違う道と気づいた。あわてて流れから離れ、降車したバス停に向かった。

(どうもみんな駐車場に行くみたいだ)

これが大きな間違いだった。あとで知ることになるが、人の流れは、乗り換えたバス停に向かっていたのだ。

ぼくは、降車したバス停の向いのバス停を見つけると、余韻に浸りながらのんびり待っていた。30分たってもバスは来ない。そのときになってようやく誰もいないことに気づいた。

(えっ!!)

あわててバス停の時刻表を見ると、まだバスはある。安心したが、もう40分は待っている。これはおかしい。あたりを見わたすと人の気配がない。静寂につつまれている。もう一度時刻表を見ると、この時間帯の数字の横に奇妙なしるしがついていた。これには注意書きがあった。「このしるしのあるバスは、事前に事務所に電話をして予約してください」ということらしい。もう10時を過ぎている。事務所は閉まっている。困ってしまった。徒歩では3、4時間かかるだろう。そもそも道がよくわからない。朝までここにいるほうが無難か。



乗換のバス停。ここからバスでさらに5分ほど森の中に入る。

ときおり車が通り過ぎる。森の中のバス停で一人はつらい。まだ街灯は灯っているが、それもいつまでつづくのか不安だった。

そんなとき一台の乗用車が50メートルほど行きすぎて戻ってきた。30代の男性がおりてきて、ぼくに声をかけた。

「バスはもうないぞ。どうした」

「バスに乗り遅れたよ」

「どこに行きたいの、乗っけるよ」

「ミュンスタープラッツあたりだとありがたい」

「わかった。いいよ」

本当に助かった。努力せず不安の中にいただけなのに運命の女神は車輪を止めた。

後部座敷に乗車すると3、4歳くらいの女の子がいた。ぼくの顔を見つめていた。まだ泣いていない。このまま泣かないようにしなければと思ひ、ぎこちなく笑いかけた。すると女の子は身構えた。男性は父親のようで、ドイツ語でない言葉で女の子に話しかけ、しばらくすると女の子は眠りに落ちた。

ぼくたちはささやくように喋った。

彼らは、トルコからフライブルクにやってきて3年目の家族だった。名前はタルハン。流ちょうなドイツ語を喋る。ぼくはバスに乗り遅れた経緯を説明した。すると母親が、「このバスの運行はよくわからない」と文句を言い出した。それをきっかけに互いにドイツ生活の不満を言い出して、声は大きくなり、やがて大笑いになったところで、娘が起きた。

タルハンさんは、ぼくが日本人だと知るとより親しげになった。エルトゥールル号遭難事件のことを知っていて、その話からぼくの人間性をいい方向に判断してくれているようだった。

降車するとき、言葉だけでなくお礼をしたいと思い、食事に誘った。しかしタルハンさんは固辞した。

「ぼくがしたことは誰もがすることだ。今度はおまえが誰かにすればいい」

その後タルハンさんを雑踏の中でさがす瞬間は幾度もあったが、それきり会うことはなかった。一度の出会いだったが、彼の迷いのない意思が腑に落ちる小気味いい行動のリズムとやさしさのハーモニーはいまも心に残っている。

運命の女神よ、人がいる限り愛はある。

注 エルトゥールル号遭難事件：1890年9月16日和歌山県串本町沖でオスマン帝国(トルコ)の軍艦が遭難した。その折り地元民は献身的な救難活動と死者の丁寧な弔いを行い、また日本政府と国民の支援があった。この話がトルコの教科書に掲載され、トルコでは時代を超えて広く知られている。

◆2月のOUHSスポーツキャンプ取材し、コロナ禍で制限が多かったキャンパスに、日常に戻ってきたことを改めて感じました。サッカー場や体育館などキャンパスのあちこちで響く、スポーツを楽しむ子どもたちの歓声の新鮮なこと。体験教室を制限なく実施できたのは4年ぶりです。スキー実習も3年ぶりでした。

◆先日、ベルギー・プロサッカーリーグで活躍する卒業生の林大地選手に、オンラインで取材する機会がありました。「大学というステージで、信頼できる仲間やコーチに出会い、プロを目指せる環境に身を置くことができました。大学生活の4年間はサッカー人生の分岐点になりました」。林選手は大学の4年間で得たものの大きさを熱く語りました。

◆その貴重な4年間の大半を、卒業生の皆さんは、コロナ禍の制限の中で過ごしました。残念でなりません。が、どうぞ次のステップでその分も輝いてください。4月、高校時代の3年間をコロナ禍で過ごした新1年生が入学します。大学生活と日常生活の回復。二つの新たなステージが始まります。林選手のように、自身の分岐点となるような充実した4年間を送ることを願っています。

【大坪康巳】



OPEN CAMPUS

オープンキャンパス

2023

7/22_(土)・8/4_(金)

8/5_(土)・8/11_(金・祝)

キャンパス見学会

2023

5/17_(水)・5/25_(木)・6/2_(金)
15～19時

6/24_(土) 10～13時

9/2_(土) 10～13時

※日程および内容は変更される場合があります。

申込方法など詳細は入試部へ
電話 072-453-7070



本物を学び、極める

大阪体育大学

【大学院】

- スポーツ科学研究科
博士（前期・後期）課程

【体育学部】

- スポーツ教育学科
- 健康・スポーツマネジメント学科

【教育学部】

- 教育学科

大学事務局

庶務部、教学部、入試部、広報室
キャリア支援部、大学院事務室

大学附置施設等

図書館、スポーツ局、社会貢献センター
情報処理センター
スポーツ科学センター
国際交流センター、学習支援室

<https://www.ouhs.jp/>

OUHSジャーナル 2023年（令和5年）4月1日（土）

発行所：大阪体育大学 広報室 発行責任者 大坪康巳 協力：教育後援会・校友会

大阪府泉南郡熊取町朝代台1-1 電話（072）453-7021 FAX（072）453-8818